

令和 6 年 11 月（11 月号）

松江市出雲玉作資料館

資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行

〒699-0201 松江市玉湯町玉造 99-3

開館時間 9 時～17 時（入館は 16：30 まで）

休館日；月曜日・休日の翌日 TEL・FAX（0852）62-1040

■ 秋季企画展 “松江藩の焼き物”～茶道具から雑器まで～ 開催中 11 月 24 日（日）まで



松江藩の御用窯、藩窯には雲善・永原・楽山・岩舟・八幡母里・久村・意東の窯がありました。このうち、雲善・永原・楽山は主に藩の御用品である茶道具や日用品を焼き、岩舟・八幡・母里は藩内で自給自足を目的に日常雑器を焼いていました。

また、久村・意東は磁器窯では花瓶や徳利などを作っていました。しかし、いずれの窯も経営が破綻し閉窯となりました。

是非この機会にお出かけいただき、優れたろくろや絵付の技術を駆使した作品をお楽しみ下さい。



■ 9 月 28 日（土）玉湯公民館主催 家族ふれあい教室「れきし・たんけん・まち歩き」に片岡館長が講師を務めました。

報恩寺・報恩寺古墳群から湯町公民館、湯町窯さんへ歩いて移動。

「知らないこと、新しい発見が出来て有意義な時間を過ごすことができました。」と感想をいただきました。

■ 10 月 2 日（水）内中原小学校 3 年生「まがたま作り」を指導



「松江のすてき発見」学習でまがたまづくりをしました。集中して一生懸命に取り組む姿と一緒に参加された保護者の方も感心した様子でした。「わからないところを教えてもらってうれしかった。」とお礼のお手紙をいただきました。



■10月5日（土）文化財課「歴史のまち歩き玉湯地区」片岡館長がガイド



玉作湯神社、保性館幽泉亭、御茶屋跡等を巡り、「参加者目線の非常にわかりやすく説明で、楽しく、充実したまち歩きになった。」と感想をいただきました。

■10月10日（木）玉湯学園2年生「町探検に行こう！」資料館探検に9人が来館されました。

「この資料館はどうして出来たのですか？」「ここでどんな仕事をしているのですか？」展示を見て「この石が全国に運ばれていたのですか？」と資料館の意義や仕事内容、展示内容を的確に把握したかのような質問に大変感心をしました。

■10月11日（金）玉湯公民館アカデミー教養講座「歴史玉湯まち巡り」

2班に分かれて保性館を片岡館長が、玉造御茶屋跡を金森が講師を務めました。



保性館幽泉亭は昭和6年に皇室専用の宿泊棟として建てられました。歴史的建造物で、平成30年5月に国登録有形文化財に登録されました。初めての方も多く、館長の説明を興味深く聞いておられました。

■今月の一品 作品名：横幅煎茶図 制作者：田能村直入・荒川亀斎・松崎仙石
制作年代：明治12年秋



同時期に活躍したこの3人の時代は、煎茶を味わいながら詩作に耽ったり、芸術を語ることが文人たちにとって理想の世界でした。まさにこの作品は喫茶をテーマに漢詩を吟じており、さしずめ煎茶点前をおこなっている骸骨は誰もが自由にお茶を楽しむことを示唆しているかのようです。

■展示室入口に展示しています。

■11月～12月のロビー展

無 料

出雲玉作資料館友の会主催

栗原 哲朗 かずらでつくる作品展

11月16日（土）～12月20日（金）



11月17日（日）ワークショップ

「かずらで花かご」参加者募集

①10時～ ②14時～

各5人 参加費 2,000円



■【休館日のお知らせ】

11/5（火）11/11（月）11/18（月）11/25（月）

※11/4（月・祝）は開館します